



# 平成27年度 豊かなむらづくり全国表彰事業

～勝連南風原集落、農林水産大臣賞受賞～

当表彰事業は、農林水産祭の表彰行事7部門（農産、園芸、畜産、蚕糸、地域特産、林産、水産、むらづくり）の二部門として昭和54年から実施されているものです。農林水産業の振興を中心に、生活、文化等を含む幅広い地域活動を展開し、地域の活性化を図っている優良事例の表彰を行い、その業績発表等を行うことにより、むらづくりの全国的な展開を推進し、農林漁業及び農山漁村の発展に資することを目的としています。

## 農林水産大臣賞伝達式

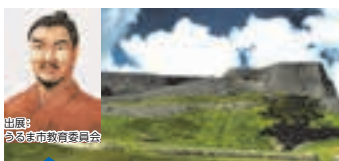
平成27年度豊かなむらづくり全国表彰事業において、うるま市の「勝連南風原集落」が農林水産大臣賞を受賞し、11月13日に沖縄総合事務局において、伝達式が行われました。県内初のオクラの拠点産地であり、「肝高（きむたか）の精神とオクラで集落活性化」を掲げた当集落の取組について詳しく紹介します。



伝達式の様子

## 地域の概要

勝連南風原集落は、城下のむらとして長い歴史を持ち、琉球王朝時代の優れた指導者たちの肝高の精神（高い志と誇りを持ち自立心に富む）や、獅子舞や棒術等の伝統芸能を含む数多くの集落の年間行事が継承されています。



かつては、勝連南風原集落の傾斜地に発祥した南風原集落を現在の肥沃な地に移動し、現代さながらの都市計画を実行したと伝えられ、むらづくりの大神人として祀られている。

## 農業生産活動の概要

勝連南風原集落を含むうるま市は、県内初のオクラ拠点産地であり、「肝高の精神とオクラで集落活性化」を掲げ、高齢化が進む中、地域リーダーの育成や栽培技術の向上、規格外オクラの活用など、オクラを中心とした地域活性化の取組が行われてきました。特に、沖縄県立中部農林高校の女子グループが生産農家と連携して商品開発した「オクラ麺」はメディアで数多く取り上げられるとともに、「日本学校農業クラブ全国大会」などでも高い評価を受けています。



オクラ麺の取組はうるま市青少年特別賞を受賞



オクラ麺

## 地域づくりの特色

勝連南風原集落では、五穀豊穡を願う豊年祭や無病息災を願う「島クサラー」など琉球王朝時代から続く伝統行事が数多く受け継がれ、集落住民の生活に深く根ざしています。一方で、都市化が進む中、当集落の連帯感を高めるため、集落住民が集う「かつちん南風原まつり」や、獅子舞等の古くから伝わる伝統芸能の保存を目的とした「かつちん南風原伝統芸能発表会」などの新たな集落行事にも取り組んでいます。

また、集落内の各団体や住民が協力し合いながら、花と緑あふれる景観作りにも力を注いでおり、農村・都市混在型の新たなむらづくりへの挑戦が続いています。

集落の共同井戸（ムラガー）の修繕・整備のため、子どもたちも含めた住民が協力



かつちん南風原まつり



「希の会」は、ボランティアで集落の美化活動に取り組む

